



# HIMSS報告

## Meaningful Use バブル

浜松医科大学医療情報部  
木村通男

# Contents

- ⌘ HIMSS 15 4月シカゴ
- ⌘ Meaningful Use バブル
- ⌘ HL7 FHIRとv2.

# IHE Interoperability Showcase Strong一家の診療情報連携



# HL7ブースに立ち見





Michio Kimura, MD, PhD, FACMI, Hamamatsu University

# ORIONのブース



# EPICのブース CERNER, McKessonに負けず



Michio Kimura, MD, PhD, FACMI, Hamamatsu University

# Meaningful Use

⌘ 適合病院には公的保険は数%のプレミアム

☑ これにKaiserなども同調

⌘ 求められるものは

☑ 医療安全

☑ ガイドライン準拠の医療

☑ 患者へ、紹介先への診療情報提供.

# HL7 FHIR と v2

## ⌘ HL7 v2にないもの

- ☑ Webなどからの参照プロトコル
- ☑ 頻用される処方、検体検査など以外のカルテ内容
  - ☒ これらには文書としてCDAが適している

## ⌘ HL7 FHIRが求められるもの

- ☑ 「患者、施設への診療情報提供」「カルテ内容」
- ☑ FHIR=簡単なカルテ内容+外部アクセスプロトコル

## ⌘ HL7 FHIRにないもの

- ☑ 部門システムとのメッセージのための細かいエレメント.

# 日本では

⌘ 処方、検体検査については、オーダがしっかり普及したので、v2メッセージで診療記録とできる

☑️これがSS-MIX標準化ストレージ

☑️v2で書けない、構造のある文書などはCDAを使う

⌘ アメリカでは、オーダが普及する前に、カルテの情報提供が求められたので、MUを満たすためにFHIRが求められた

☑️そもそも、院内に「部門」がないことが多い。

# End of presentation



## Agra, India

Michio Kimura, MD. PhD, FACMI, Hamamatsu University, School of Medicine